

舞鶴医療センター附属看護学校

まいづる☆かん GO!!

第6号 発行日:平成23年3月29日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

Tel:(0773)63-4338 Fax:(0773)63-3014

アドレス kyokan-d@maizuru-mc.jp



このたび東北地方太平洋沖地震で被災され、過酷な状況で過ごされている方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、現在も救助を待ち続けておられる方々の一刻も早い救出と、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。



皆さんお久しぶりです。寒い日が続いていましたが、ようやく温かさを感じられる今日。散歩をしていると土筆(つくし)を見つけられるようになりました。春の訪れを感じますね。今回はよくご存じの「土筆(つくし)」について述べたいと思います。「土筆(つくし)」は、シダ類トクサ科の「すぎな」の孢子茎です。正しくは「杉菜(すぎな)」の孢子茎(ほうしけい)というもので、「付子」と書くこともあります。トクサは今から約5億年もさかのぼった古生代から、すでに地上に繁茂していたそうで、その親戚のつくし(すぎな)は、言わば生きた化石なのかも知れませんね。つくしを見ると春の訪れを感じます。第6号では学生たちの1年の振り返りや次年度への決意などを掲載しています。

☆ 1年生 ☆

～1年を振り返って - 初めての実習 緊張の連続 - ～

学校に入学し、「医療」「看護」という新しい世界に足を踏み入れ1年が経ちました。学ぶ事は専門的な事ばかりで難しく頭を抱えることもあれば、学んでいておもしろい教科もありました。普段自分の身体の中で何が起きているのか、何が原因で病気にかかっているのかなどを学ぶことでより興味が増しました。

2月には実習があり、患者様を初めて受け持ちました。「指導者さんは怖いのかな?」「今まで学んできたことがどこまでできるのかな?」など不安や緊張を抱えていました。しかし、初日に患者様のところへ挨拶に行ったときに、患者様は笑顔で迎え入れてくれました。その笑顔で緊張がほぐれ、良いスタートができたと感じました。1日1日経つごとに、患者様の性格、状態を知ることが増え、未充足な面も見えてくるようになりました。学校で行う援助とはまた違い、患者様に合った援助を考える重要性も学びました。援助を行うと患者様はいつも満面の笑みで感謝の気持ちを伝えて下さり、改めて「看護」ってとても良いものだなあと嬉しく感じることができました。患者様の笑顔が増えていくような看護をこれからも心がけていきたいと思いました。

今後も日々学習に励み、知識や技術を習得できるようにしていきたいと思います。また新しい一年生が入って来るので、先輩としての自覚を持ち、手本となれるよう日々成長していきたいです。(古川)



☆ 2年生 ☆

～長いようで短かった1年間～

一つまた一つと講義が終わっていき、また実習の回数を重ねるごとに看護の難しさや大変さ、すばらしさを感じます。対象の思いにどうやったら近づくことができるのか、何とか力になりたいのになかなかできない自分に苛立ちを感じることもあったけど、患者様や病棟の方々に優しく丁寧に接して頂き、2年次の実習を終えることができました。来年は3年生として患者様の気持ちに寄り添った看護が行なえるようにしていきたいと思います。また、皆と協力しながら勉強と実習を両立させ、全員看護師国家試験に合格できるように頑張りたいと思います。これからもあたたかく見守ってください。



☆ 3年生 ☆

～本当に…ありがとうございました～

看護師になるという思いを抱き入学して3年が経ちました。今思い返すと長いようで短かった3年間。3月10日(木)に私たち第61回生41名、卒業式を迎えることができました。3年という時間は何事にも変えられないたくさんのの方々との出会いと別れがありましたが、皆様から本当にたくさんのプレゼントを頂きました。実習でお世話になった患者様、病棟の方々、講師の先生方、本当にありがとうございました。この学校生活で学んだことを基礎として、これから看護師として頑張っていきたいと思います。



☆予餞会☆

～ わははっ!! ～

この季節になると嬉しい反面寂しさを感じます。今までお世話になった3年生の皆さんに楽しんで頂こうと1・2年生から心をこめて予餞会を行いました。各学年で歌や踊りなどの催しを行い、また、お世話になった先生方へ手紙を読み、寂しくもあり楽しい時間を過ごすことができました。



☆特別講演☆

～看護ってすごいね！！～

3月8日（火）内藤正子先生から『看護実践はこころと知を技で一観る・聴く・話す』というテーマでご講演頂きました。内藤先生ご自身の体験談や看護観を「咀嚼^{そしゃく}」して分かりやすくお話しくださいました。学生からの意見や感想を紹介したいと思います。

☆対象と向き合って話をしていきたいと思います。

☆対象の立場にたった看護がしたいです。

☆誇りに思います。

☆胸を張って仕事ができればいいな。

☆感謝の気持ちを忘れずにいたい。

☆恐れずに向かっていき体験することが大切だということが分かりました。

☆対象だけでなく周りにいる家族の人たちへも援助が必要だということを再認識させられました。

☆患者さんにとって入院という出来事は非日常的なことであり、私たち看護師はそ
中で出会う1人であり、出会ってよかったと思って頂けるような看護師になりたい。

☆普段何気なく使っているポータブルトイレや尿器などが家族や周りの人たちに与える影響を知りました。

☆いろいろな人と協力し、周りの人たちに支えてもらいながら看護師として働ける喜びを感じました。など、
まだまだたくさんの意見があり紹介できないのが残念ですが、みんないろいろなものを感じ得たようです



☆ 3 学年合同まとめの会 ☆

各学年それぞれ実習で学んできたことを発表し、意見交換しました。学生たちの感想や意見を紹介したいと思います。

☆先輩方の発表を聞かせて頂いて、先輩方は対象の想いに寄り添えるよう常に意識し取り組んでおられることが分かりました。自分たちも対象の想いに寄り添えるように頑張っていきたいです。

☆あたり前だけど、日々の生活（入院生活）の中で対象の何気ない言葉や動作にも必ず「想い」や「意味」があるということを知り、常に耳を傾けそこから今何を考え、望んでおられるのか考え、自分たちが今できることを考え行動することの大切さを教えて頂きました。

☆来年の今頃、自分たちも先輩たちのように理論を用いて発表ができるのかと心配になりました。先輩ってすごい！
と思いました。

☆後輩たちの学びを聞き、3年前の自分たちを思い返し、新鮮な気持ちになれました。

初心を忘れないようにこれからも頑張っていきたいです。

各学年の学びを発表しあい聞くことで刺激となり、新たな気持ちや決意ができたようです。



☆学校公開☆



～アットホームな感じがいい～

今年度最後の学校公開が3月26日(土)に行われました。今年も6回実施し、参加して下さった総人数は、昨年度より38名多い109名でした。白衣体験や教材体験、看護学生との交流会などを盛り込んだ内容を通し、たくさんの方に当校の良さを知って頂きました。「とても良い雰囲気でした。皆さんとても優しく親切に接してくれたので嬉しかったです。学生さんと先生方の仲が良く、ぜひ入学したいと思いました。」などたくさん素敵なコメントを頂いております。来年度も計画していますので是非ご参加ください。



☆ その他 ☆



☆先日3月25日(金)第100回看護師国家試験合格発表がありました。一人一人一生懸命に頑張りました。夢を叶えた卒業生たちは各々の職場や学校に行き、来月から看護師として頑張っていきます。皆様あたたかく見守っててください。宜しくお願い致します。

☆ボランティア部です。来年度も皆様に少しでも『ほっ!』として頂けるよう取り組んでいきたいと思えます。またご要望など御座いましたらお気軽に連絡ください。



☆左の写真の木は当校にある「うめの木」です。春を思わせる日差しの中美しい花を咲かせました。そんなうめの花に雪が積もった時の写真です。

☆終わりに☆

皆様の温かいご指導やご支援のおかげをもちまして、1年を終えることができました。心から御礼申し上げます。来月から新しい仲間(新入生)を迎え、気持ちも新たに力を合わせいろいろと取り組んでいきたいと思えます。引き続きご指導、ご支援の程宜しくお願い致します。

次回第7号の発刊では、入学式・新入生歓迎会・看護の日などについて掲載する予定です。6月下旬に発刊予定です。新年度も宜しくお願い致します。

